

『立命館アジア・日本研究学術年報』執筆要領
AJI スタイルシート（和文用）

2019年7月24日 アジア・日本研究所ジャーナル編集委員会決定

（総則）

第1条

1. アジア・日本研究所（以下、研究所。）が刊行する『立命館アジア・日本研究学術年報』（以下、年報。）への論文等の原稿（以下、原稿。）の投稿については、本要項に従うものとする。
2. 本要項に定めのない事項については、研究所のジャーナル編集委員会（以下、編集委員会。）および編集委員会から選出された編集部が決定するものとする。

（原稿の体裁）

第2条

1. 原稿は、MS Word を用いて、以下の要領で作成し、電子データを電子メールに添付して提出するものとする。なお、刊行時の体裁については、編集委員会および編集部において決定する。
 - (a) ページの字数・行数：A4用紙に、横書きで1行40字（全角）×30行とする。上下のマージンは25ミリ、左右のマージンは20ミリとする。
 - (b) 使用フォント：本文は、和文はMS明朝、英文はTimes New Romanを使用し、フォントサイズは10.5ポイントとし、行間を1行とする。
 - (c) 論説（論文）、レビュー論文および研究ノートの場合は、原稿の前に表紙を付し、題名、執筆者名、所属、電子メールアドレスを記入する。原稿の本体には、題名のみで、執筆者の名前や所属が明らかになる情報を記入しない（査読審査のため）。論説および研究ノート以外の原稿は、第1頁の冒頭に、題名、執筆者名、所属、電子メールアドレスを記入する。
 - (d) 論説、レビュー論文、研究ノート、研究報告には、冒頭に200 words 以内の英文サマリー（アブストラクト）、キーワード（5語ずつ、英語及び日本語）を付ける。
 - (e) ヘッダー・フッター：ヘッダーは付けず、フッターには中央にページ番号を挿入する。
 - (f) 注は、脚注を、内容の補足説明に限って用いる。出典注は用いず、本文中に（著者名，出版年）または（著者名，出版年：○-○頁）を挿入し、末尾の文献リストを参照できるようにする。注番号は、アラビア数字を用いる。
 - (g) 本文では、全角の句読点（、／。）を用いる。日本語文献のリスト表示では、全角のカンマ、ピリオド（，／。）を用いる。
2. 原稿の長さは、本文、文献リスト、図表等を含めて、次の通りとする。

論説（論文）：15～30 頁。ただし、自然科学系の分野によってはこれより頁数が少ない場合も可とする。

レビュー論文：15～30 頁。ただし、自然科学系の分野によってはこれより頁数が少ない場合も可とする。

研究ノート：10～15 頁。

研究報告（フィールド報告を含む。）：2～5 頁。

研究サーベイ（先行研究レビュー）：5～15 頁。

書評：2～5 頁（書評論文は 10 頁まで可）。

3. 本文の章・節などの区分は、原則として、次のような順と記号によるものとする。

I.

1.

(1)

(a)

4. 年号は、原則として西暦で記述し、他の暦法の記載が必要な場合は、1937（昭和 12）年、1974（イスラーム暦 1394）年のように（ ）内に併記する。文脈上、他の暦法を優先して記すべき場合は、逆に昭和 12（1937）年、イスラーム暦 1394（1974）年のように併記する。

5. 副題を付ける場合は、主題と副題の間をコロンの（:）または 2 倍ダーシ（——）で結び、副題の後には何も付けない。

（参照文献および図表の表記）

第 3 条

1. 末尾に付す文献リストは、本文中に参照されている参照文献のリストとする。
2. 外国語文献の表記法は、AJI Style Sheet を基準とする（本要項の末尾に、例示を参考資料として添付）。リストは、著者の姓（または姓に相当する部分）のアルファベット順に記載する。なお、アジア諸国等の著者の名前の表記法については、ディシプリンによって原則や慣行が異なる場合があるため、ディシプリンによる判断を認める。ただし、当該リストの中での一貫性を確保するものとする。
3. 日本語文献の表記法は、原則として、次のようにする（本要項の末尾に、例示を参考資料として添付）。なお、本プレティンの学際性に鑑み、ディシプリンによって標準的な表記法が異なる場合は、それを用いることを編集委員会の判断で認めることも可とする。その場合は、それに該当する表記法の根拠（学会誌の執筆要項など）を原稿提出時に編集委員会に提出するものとし、同一原稿内での表記法の一貫性を確保することを条件とする。

単行本： 著者名（刊行年）『書名』出版社名.

所収論文：著者名（刊行年）「論文名」編者名（編）『書名』出版社名。

雑誌論文：著者名（刊行年）「論文名」『雑誌名』巻・号，〇-〇頁。

著者・編者が複数の場合は、その名前を「・」で結ぶ。

同一年の著書や論文がある場合は、2019a、2019b、のように記して区別する。

翻訳の場合は、書名の後に（翻訳者名・訳）と付す。

4. オンライン上の出典を参照する場合は、URL を記し、（〇年〇月〇日閲覧）と最終参照日を記す。
5. 図・表・写真等は、「図 1」「表 1」のように通し番号を付け、それぞれ題および出所を、執筆者による作成の場合も引用の場合も明記する。原則として、図題は図の下部に、表題は表の上部に付ける。図表に対する注記は、図表の下部に配置する。ただし、原稿提出時には、本文には「ここに図 1 を挿入」等の指示を入れるにとどめ、図表類は末尾（文献リストの後）にまとめて添付する。なお、自然科学系の論文においては、図表類の題名・説明等を英語で記すことも可とする。

（著作権および権利者の許可）

第 4 条

1. 年報に掲載された原稿の著作権は、投稿規程第 5 条に従い、原則として編集委員会に帰属するものとする。
2. 原稿中に、写真などの著者以外の権利者が関与するものが含まれる場合には、その権利者の許諾を投稿に先立って得ておくものとする。

（附則）

本要項は、2019 年 7 月 25 日から施行し、2019 年 7 月 26 日から適用する。

2021 年 6 月 10 日改正。

（参考資料）

《和文》

〈書籍〉

渡辺公三（2003）『司法的同一性の誕生：市民社会における個体識別と登録』言叢社。

渡辺公三編（2011）『知のアトリエを求めて：立命館土曜講座 3000 回記念』立命館大学衣笠総合研究機構。

西川長夫・渡辺公三編（1999）『世紀転換期の国際秩序と国民文化の形成』柏書房。

渡辺公三著，石田智恵・富田敬大編（2017）『異貌の同時代：人類・学・の外へ』以文社。

〈所収論文〉

野村亨（1998）「多民族国家マレーシアにおける国民統合」西川長夫・山口幸二・渡辺公三編『アジアの多文化社会と国民国家』人文書院，68-83頁。

渡辺公三（2008）『『神話論理』への反言語論的転回：1950年代のレヴィ=ストロースの人類学的探究』『思想』1016号（2008年12月号），10-25頁。

〈翻訳〉

レヴィ=ストロース，クロード（1988）『現代世界と人類学：第三のユマニズムを求めて』（川田順造・渡辺公三訳）サイマル出版会。

《英文》

References (Examples)

1. Books and Articles

Findlay, Christopher, ed. 2015. *ASEAN and Regional Free Trade Agreements*. New York: Routledge.

Khan, M. A. 1991. *Islamic Economics: Annotated Source in English and Urdu*. Vol.2. Leicester: Islamic Foundation.

al-Omar, F. and M. Abdel-Haq. 1986. *Islamic Banking: Theory, Practice and Challenges*. Karachi: Oxford University Press; London: Zed Books.

Schafferer, Christian, ed. 2006. *Election Campaigning in East and Southeast Asia: Globalization of Political Marketing*. Hampshire: Ashgate.

Wallerstein, Immanuel. 1999. *The End of the World as We Know It: Social Science for the Twenty-first Century*. Minneapolis: University of Minnesota Press.

2. Statistics, Reports and Websites

Iraqi Ministry of Displacement and Migration (MoDM). Unpublished Reports from MoDM, Department of Information, Statistics Section.

United Nations High Commissioner of Refugees (UNHCR). "2011 UNHCR Country Operations Profile-Iraq Working Environment."

<http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vix/page?page=49e486426> (accessed on 24th Dec. 2009).